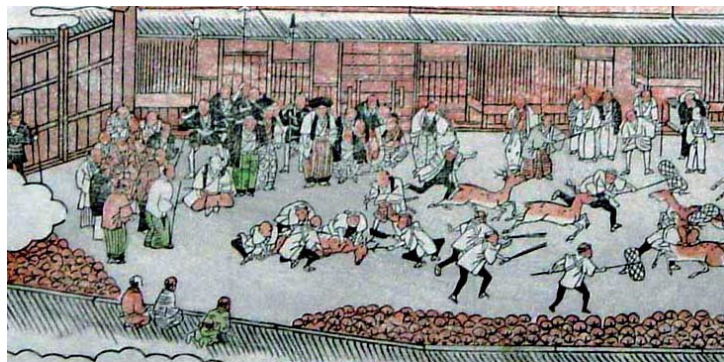


行事の収益は「奈良のシカ」の保護に充てられます

角きりの歴史

「鹿の角きり」は、発情期をむかえた雄鹿の角により、町民が危害を受けたり、鹿がお互いに突き合って死傷することを防ぐため、江戸時代初期の1672年(寛文12年)当時鹿の管理者であった興福寺が奈良町奉行の要請を受けて始めたと伝えられています。当時の角きりは、町の所々で行われ、店先や人家の格子の中、屋根の上などから見物していたようです。明治時代の中頃には、春日大社の参道の所々で角きりが行われていました。1929年(昭和4年)より現在の角きり場を設け現在の姿となりました。明治・昭和の戦乱期の一時中断を除き、現在まで継承されている古都奈良ならではの勇壮な伝統行事となっています。



南都神鹿角伐之図(東栄堂蔵)

角きり行事とは

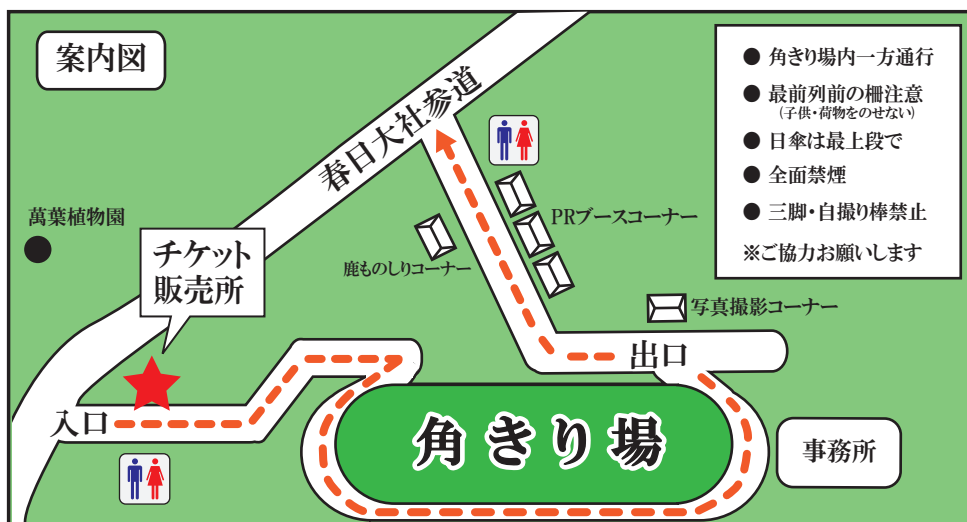
勢子たちが「赤旗」を持ち、角きり場内に立派な角を持つ雄鹿を追い込みます。「十字」を持った勢子が鹿の角に縄をかけます。鹿はゴザの上に寝かされ、神官役が興奮した鹿の口に水差しで水を含ませ気を静めた後、ノコギリで角を切り落とします。鹿は神様のお使いの「神鹿」とされてきたことから、神官役が角を切り、神前に供えます。



角鹿を追い込む勢子



縄をたぐりよせる勢子



タイムテーブル	
11:30	開場
12:00	安全祈願祭
12:30	角きり行事1回目
13:00	30分間隔で 行事進行
13:30	
14:00	
14:30	角きり行事5回目(最終回)
15:00	行事終了

※行事進行上、時間が前後することがあります。

角きり行事 特別ゲスト

10月6日(土)



小谷真美子
ラジオパーソナリティ
奈良在住
FM COCOLO
PACIFIC OASIS担当
ラジオ・テレビ・ナレーション
など多方面で活躍

10月8日(月・祝)



大垣知哉
シンガーソングライター
俳優・タレントとして活躍
奈良学園卒・趣味は奈良
ならどっとFM出演中
郷土学習講座の司会進行と
しても活躍

鹿からのお願い

奈良公園の鹿は、国の天然記念物に指定されている**野生動物**です。
みんなでたいせつに鹿を守りましょう。

小さい子は、おとなと
いっしょにあたえよう！



まわりの鹿にも注意しよう！



バッグなどに気をつけて！



鹿せんべいがなくなったら
両手を広げおしえて！

